

インターンシップ実施結果報告

2019年8月30日・9月5日に、
2019年度静岡地方裁判所インターンシップを開催しました。
2日間で、なんと51名の方に参加していただきました！
インターンシップの一日の様子をご紹介します。

吹き出しは参加者の感想です！



職員による説明に、みなさん熱心に耳を傾けていました。

1. 導入説明

(10:00~10:30)

- ・裁判所の組織・仕事内容
- ・裁判部門と司法行政部門
- ・裁判所のキャリアパス
- ・裁判所書記官について



①令状作成

窃盗事件が起き、警察から令状請求がされたと想定し、書記官の事務を体験していただきました。



令状の審査～発付まで、真剣に取り組んでいる様子です。

- ・書記官の仕事について、具体的に知ることができて良かった。
- ・書記官はミスが許されない重要な立場だと感じた。
- ・ロールプレイを交えた説明で、職場の雰囲気も伝わってきた。

2. 裁判部門業務体験

(10:30~14:10)

- ①令状作成
- ②勾留請求処理
～休憩～
- ③起訴状受付・公判期日調整
- ④公判立会

②勾留請求処理

勾留質問立会と勾留質問調書作成を体験していただきました。

分からないところは、皆さん積極的に書記官に質問していました。



④公判立会

書記官役として公判立会・調書の作成を体験していただきました。



実際に職服を着て、書記官になりきっていただきました。

職員や裁判官がロールプレイを行い、期日の流れを見ていただきました。

③起訴状受付、公判期日調整

事件について起訴がされたと想定し、期日調整を体験していただきました。



書記官の仕事は多くの人とのコミュニケーションの上、成り立っていることが分かった。

専門用語に関しても随時説明してもらえたので良かった。

書記官の仕事は、責任が伴う分、達成感ややりがいも大きいと感じた。

高い処理能力が求められる仕事だと感じた。

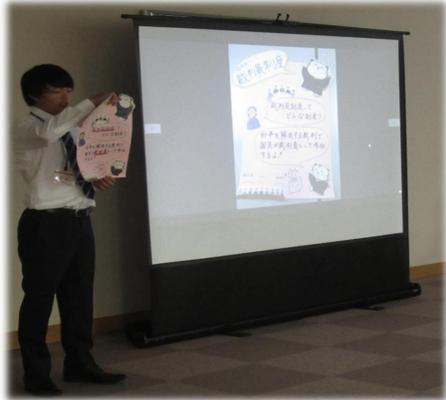


3. 司法行政部門体験 (14:10~15:20) 裁判員制度広報用チラシの作成

- ①導入説明・役割分担
- ②グループでチラシを作成
- ③プレゼンテーション



◀制限時間内に完成させることを意識しながら、意見を出し合い、楽しそうに取り組んでいました。

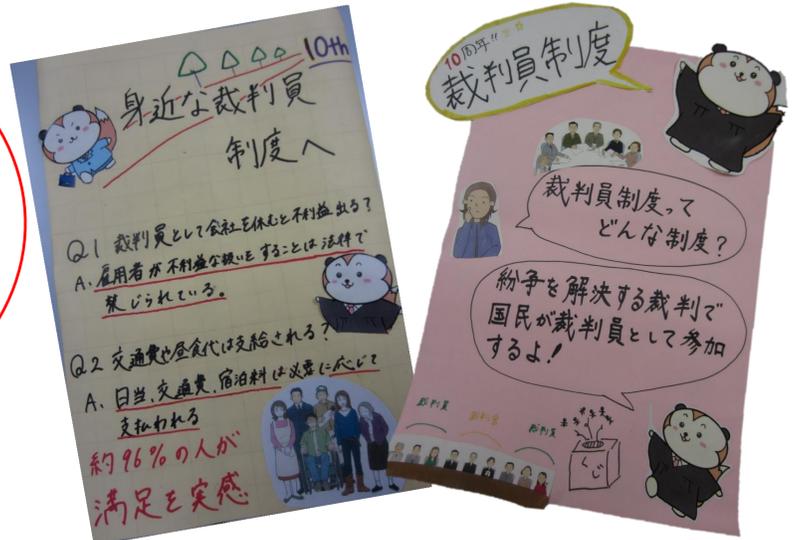


・初対面のメンバーとも楽しく話し合うことができた。

・司法行政部門の「縁の下の力持ち」としての側面に魅力を感じた。

・情報を発信する対象に合わせた内容を考えるのが楽しかった。

▲チラシ作成後、各班にプレゼンテーションをしていただきました。どの班も個性的で素晴らしいチラシを完成させることができました。



◀様々な質問が飛び交う実した時間になりました。

4. 座談会 (15:30~16:25) 新採用職員・書記官・事務官・管理職員の4つのブースに分かれて座談会を行いました。

・貴重な体験ができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

・今回のインターンで、裁判所の仕事について具体的なイメージを持つことができた。将来を決める上でも参考になった。

・裁判所の職員は堅いイメージだったが、どの方も優しく、柔らかいイメージに変わった。

・実際に裁判所で働く人たちの話を聞いて、今後のモチベーションにつながった。



5. 終了挨拶・まとめ (16:25~16:30)

▶最後に、静岡地方裁判所長から参加者に向けて挨拶がありました。



担当者からのメッセージ

静岡地裁でのインターンシップの開催は、今年で2度目となりました。

今年は、昨年度よりも多くの人に参加していただき、よりたくさんの方に裁判所での仕事について知っていただけたのではないかと思います。

真剣に作業に取り組む皆さんの姿は、私たち職員にとっても、非常に良い刺激となりました。

今回体験していただいた業務以外にも、裁判所にはやりがいのある仕事がたくさんあります。今後も様々なイベントを通して、裁判所の仕事を紹介していく予定ですので、ぜひご参加いただければと思います。

ありがとうございました！

